

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	志學館大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	鹿児島
大学全体の総収容定員	1,400 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	人間関係学部（心理臨床学科、人間文化学科）、法学部（法律学科、法ビジネス学科）		
事業計画名	志學館大学デジタル総合学部（仮称）新設計画		

2. 事業概要

志學館大学は心理学・文学・法学の学問系統を持つ文系大学であり、地域社会に根差した高等教育機関として人材の養成に寄与してきた。これらに加え、近年の急速なデジタル社会化と慢性的な理系人材不足の課題に応えるため、本学では初となる理系学部であるデジタル総合学部（仮称）の開設を計画している。

新学部では、実社会に存在する諸課題に対して、情報技術・数理・統計学・データサイエンス等の理系分野の知識・技能とコミュニケーション能力・論理的思考等を掛け合わせた総合力をもって対応できる、実践的デジタル人材の育成を目指す。まずは、情報学全般の基礎的な知識・技能を修得し、続いて演習科目等を通じてそれらの定着を図るとともに、より高度な専門的知識と技術を身に付ける。併せて、そこで得た知識を社会の課題解決に活用できるよう、より実践に近い形での学びの場として県・市町村・地元経済界と連携したPBLやフィールドワークを取り入れる。既設の学問分野や連携協定校・同一法人内設置校等が持つ教育的リソースとの横断的な学修も取り入れ、学際的な知識を融合した学部とする。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	デジタル総合学部（仮称）					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	鹿児島県鹿児島市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	40 名					
他学部等の入学定員の減少数	0 名					



事業計画名 志學館大学デジタル総合学部(仮称)新設計画					
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	デジタル総合学部	入学定員増数(合計数)	40名
所在地	鹿児島県鹿児島市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	0名

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・情報通信技術やデータ解析に関する知識を十分に活用し、新たなサービスを創出しうる人材は不足しており、社会からの人材育成のニーズが高まっている
- ・文部科学省「SSH」、「高等学校DX加速化推進事業」など初等中等教育において理系教育が強化されているがその受け皿となる理系高等教育機関は少ない。
- ・鹿児島市内には情報分野の学部は国立大学法人にしかないため、地域社会からの要請は非常に強い

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・新学部は、基礎的なICTの知識とデータサイエンスの素養と本学がこれまで文系大学として培ってきた、コミュニケーション能力・論理的思考等を兼ね備え、企業等で実践的に活躍できる人材の輩出を目的とする
- ・デジタルに関する学修に加え、創造的な思考力やプレゼンテーション能力を身に付けるため、講義のほか、実習・アクティブ・ラーニング型科目・演習科目やPBL型科目など、幅広く質の高い科目を学修する

<教育内容・育成する人材像>

- ・共通教育で総合的教養を身につけたうえで、専門基礎でデータサイエンスに関する数学や情報、プログラミングに関する基礎知識を修得し、専門応用で様々な分析手法やアルゴリズムに関する幅広い知識を身につける
- ・本学の既存のナレッジやGX社会化に関する学びをクロスオーバーさせることによって、実社会でしなやかに知識を活用できる土台を醸成しながら、高学年ではフィールドワークや企業等と連携した課題解決型の社会連携プロジェクト科目等を展開する
- ・データに基づく統計的な思考をベースにしながらも、社会的・人間的配慮や倫理観、コンプライアンス意識を持ち、課題を柔軟に解決していく能力を身につけるカリキュラムを編成する
- ・多様なデータの分析と利活用に必要な数理統計・情報学・社会科学に関する知識と、課題解決につながる専門性・考察力・行動力を持ち、実社会に存在する諸課題を主体的に解決できる人材を育成する

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・連携協定を締結している自治体・地元企業・高等教育機関や、加盟している情報系協会などと連携し、実務家による講義・PBL型授業・データ提供による共同研究の推進や、インターンシップ等を実施する
- ・県内高等学校や同一法人内に設置の高等学校等と連携し、出張授業や大学訪問の受入を実施する

<多様な入学者の確保>

- ・確かな学力と多様な資質をもった受験生を受け入れる多面的評価入試を継続しつつ、新学部に適合する入試科目を検討する
- ・理系学部の女子学生の確保のために、高大連携協力校を中心に、当該分野の魅力を伝える機会を設ける
- ・小中高生に向けて、出張授業、大学見学会、ガイダンス、探究活動発表会等を継続して実施し、新学部の具体的なイメージを提示することで進学への動機づけを図る
- ・社会人学生受入の体制と実績を活かし、DX人材の育成を見据えたりカレント教育体制を整える予定である

